



中村敏夫
元県議会議員

根本陽一さんは、ちょうど私が県議会に出たころ日本共産党に入党しました。自衛隊爆破訓練場や十王ダム建設問題を私が県議会で取り上げたとき、根本さんは真っ先に立ち上がり、地元の運動の先導役を努めました。その後、十王町議や日立市議として、また県北農民センター

会長として、くらしや福祉、地域農業を守る活動にひたすら献身してきました。

いま、自民党と公明党の政治が、格差拡大と大増税、福祉切り下げを押しつけ、その痛みは限界にきています。

こういう時こそ、根本さんがその経験と力を発揮して、日立に日本共産党の県議会の議席を取り戻し、住民が主人公の県政実現のために奮闘して欲しいと心から願っています。



西村福司
日立民主商工会会長

自民・民主・公明などの与党、橋本県政は、船の来ない港や、水需要のないダムなどの大型開発には借金をしてでも税金をつぎ込む一方で、庶民のくらしや営業はないがしろです。

この間、日立市からの県議は、自民、民主、公明のオール与党が占めてきました。その結果、

日立の街はどんどん活気を失ってきました。

根本さんは、私たちの会が毎年おこなっている重税反対統一行動や、税務署交渉などに、ともに行動してきました。

選挙のときだけ美しい言葉を並べ、庶民いじめの政治、なんでも賛成では困ります。きたえられた庶民の政治家としてがんばってくれる根本さんを、ぜひとも県議会に送り出すよう私も応援したいと思えます。

根本陽一

日本共産党

のおやくそく

- 高齢者や障害者の介護施設の増設、介護保険料・利用料の減免、在宅介護の充実をはかります。
- 乳幼児医療費の負担を軽減し、保育所や児童クラブなど子育て環境の整備をすすめます。
- 三〇人学級の実現や父母負担の軽減で、一人ひとりにゆきどいた教育をめざします。
- 低賃金、長時間労働を是正し、若者の雇用の安定をはかります。
- 大型店は、商店街活性化と街づくりの観点から調整をはかります。
- 生産者の顔が見える「地産地消」で農業・漁業の振興と食の安全確保をはかります。
- 憲法九条と教育基本法をまもる運動の先頭に立ち、平和な日本と世界のために力をつくします。

力をあわせましょう



茨城県議会議員選挙
日立市区 予定候補

日本共産党

根本陽一

プロフィール

■ 1947年生まれ(59歳) 千葉大学園芸学部別科修了 ■ 楯形農協勤務 ■ 十王町議7期・日立市議 ■ 住所・十王町伊師ノ家族・母、二男ノ水田3ヘクタール

日立市議団 Web <http://www.jcp-hitati.com/>
mail giindan@jcp-hitati.com
ブログ「ようちやん日記」 <http://sun.ap.teacup.com/roman/>

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。私どものアンケート調査では、最近のくらし向きについて「悪くなった」と答えた方がほとんどです。ある60代の女性は「年金生活となって身のあわれを痛感しています。せつせと定年までがんばってきましたが、生きることへの不安が大きいです」と書いています。人口が減り続けるこの日立市で、子育ても老後も

安心できる街づくりが課題です。青年が希望を持って働ける社会、農業や中小工業の現場でも働くことに意欲がもてる政治が強く求められます。県議会は、日本共産党以外がオール与党となって、大型開発中心の県政をすすめています。私はこれに風穴をあけ、みなさんのくらしの声を県政に届けるために全力を尽くします。ごいっしょに政治の流れを変えていきましょう。

くらしの声を県政に

議会で判断に迷ったときは、
働いている人の姿を
思い浮かべるんだ

●いつも立ち返る初心

1980年、議員になったとき「議会で判断に迷ったときは、働いている人の姿を胸に思い浮かべるんだよ」と言ってくれたのは、日立市議だった故大和田正輝さんでした。その言葉を初心として、ことあるごとに立ち返り、住民こそ主人公の立場を貫いてきました。

●みなさんと力あわせて

日本共産党の議員としてみなさんと力をあわせて、学校給食の充実、町立保育所の存続、学童クラブの実現、乳幼児医療費の助成、非核平和の町宣言などの提案が実を結びました。また、合併にあたって日立市が乳幼児医療費の助成を6歳未満児まで拡大したことや、十王町の水道料金を日立市なみに引き下げることに道を開きました。日製でおきた重大災害では労基署と交渉（写真）し、働くものの立場で奮闘してきました。



●いのち育む食と農

県北農民センター会長として、食と農をまもる運動に力を入れてきました。税金相談や「顔の見える食べ物を」と産直に取り組む、農家や消費者のみなさんといっしょに活動しています。アメリカ言いなり農政の転換を求めつつ、大地に足をつけ誇りを持ってホコリと汗にまみれています。自らのブランド「^{うまいべえ}鷓舞米」は、十王町の地産地消施設「^{うきうき}鷓喜鷓喜」でも販売して好評をいただいています。

根本陽一をオール与党に風穴を 県議会に

市議団
座談会

市民の願いを届ける



根本陽一

おおそね勝正 日立市と十王町が合併して2年になります。十王町議だった根本陽一議員が加わって、日本共産党市議団は、議会内で会派を構成する要件を満たすことになったわけです。

小林まみ子 それで、決算審査特別委員会や日立市基本計画特別委員会などへ委員を送ることができるようになり、市民の願いを議会に届けるパイプが広がりました。

根本陽一 議員団の存在というものがこんなにも心強いものかと実感しています。日立市議として、お二人は先輩です。大曾根さんは、地元はじめ市民からの相談に親身になって応える姿が印象的です。小林さんは、議員活動と子育てを両立し、いつもきめ細やかな視点に助けられています。

おおそね お互いが補い励まし合って、何倍もの力を発揮してきたのではないのでしょうか。

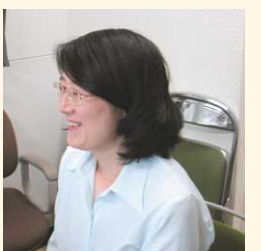
小林 現実の市政を動かし、それを市民に毎週の市議団ニュースで欠かさず伝えるという活動も継続してきました。インターネットに市議団のホームページも開設し、メールでご意見を寄せていただくといった新たな接点も広がりました。

県政でも力の発揮を

小林 大きくなった市議団の力で、乳幼児医療費の助成の拡大や所得制限の撤廃といった施策を勝ち取ってきました。そうした願いをさらに形にするためには、やはり県政に住民の声を届ける議員が必要ですよ。



おおそね勝正



小林まみ子

根本 インターネットで「うちちゃん日記」というブログを開設して活動を紹介してきました。笑ったり泣いたり飾らない日常の姿を知っていただき、また、みなさんからの声も寄せていただけるよう、双方向性を大切にしたいと努力しています。

おおそね 根本さんは7期26年町議、市議として住民のくらしを守る運動に力をそそいできました。この経験をいかし何としても県政の場で働いてもらいたいと思います。大企業の街から県議を送る意義は大きなものがあり、私たち市議団としても全力をあげる決意です。

根本 大企業や一握りの大金持ちの側に身も心もついて、弱者にばかり負担増を押しつける自民、公明、民主のオール与党の壁を打ち破るたたかいに、みなさんともいどみたくお思います。ご支援をよろしくお願ひします。